

第219回 地震予知連絡会資料



うみまる

海上保安庁
平成30年5月25日



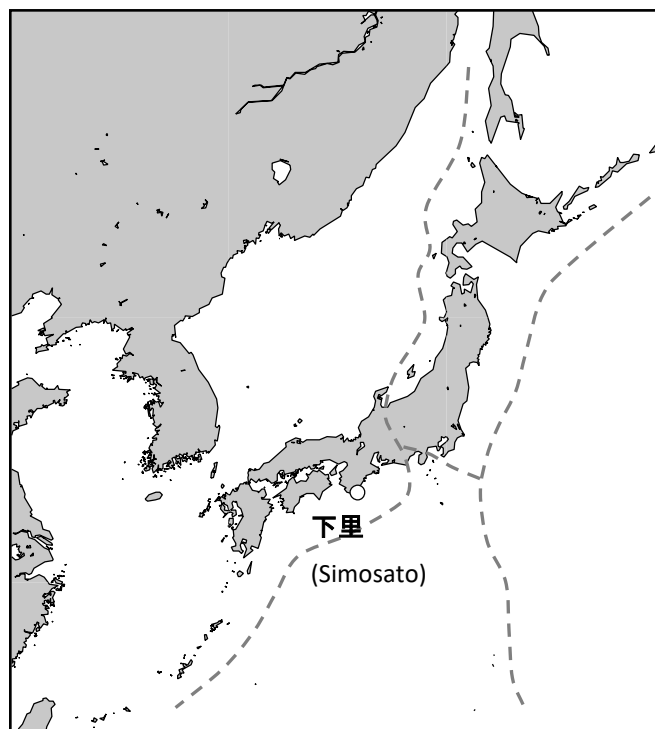
うーみん

下里水路観測所における SLR 観測

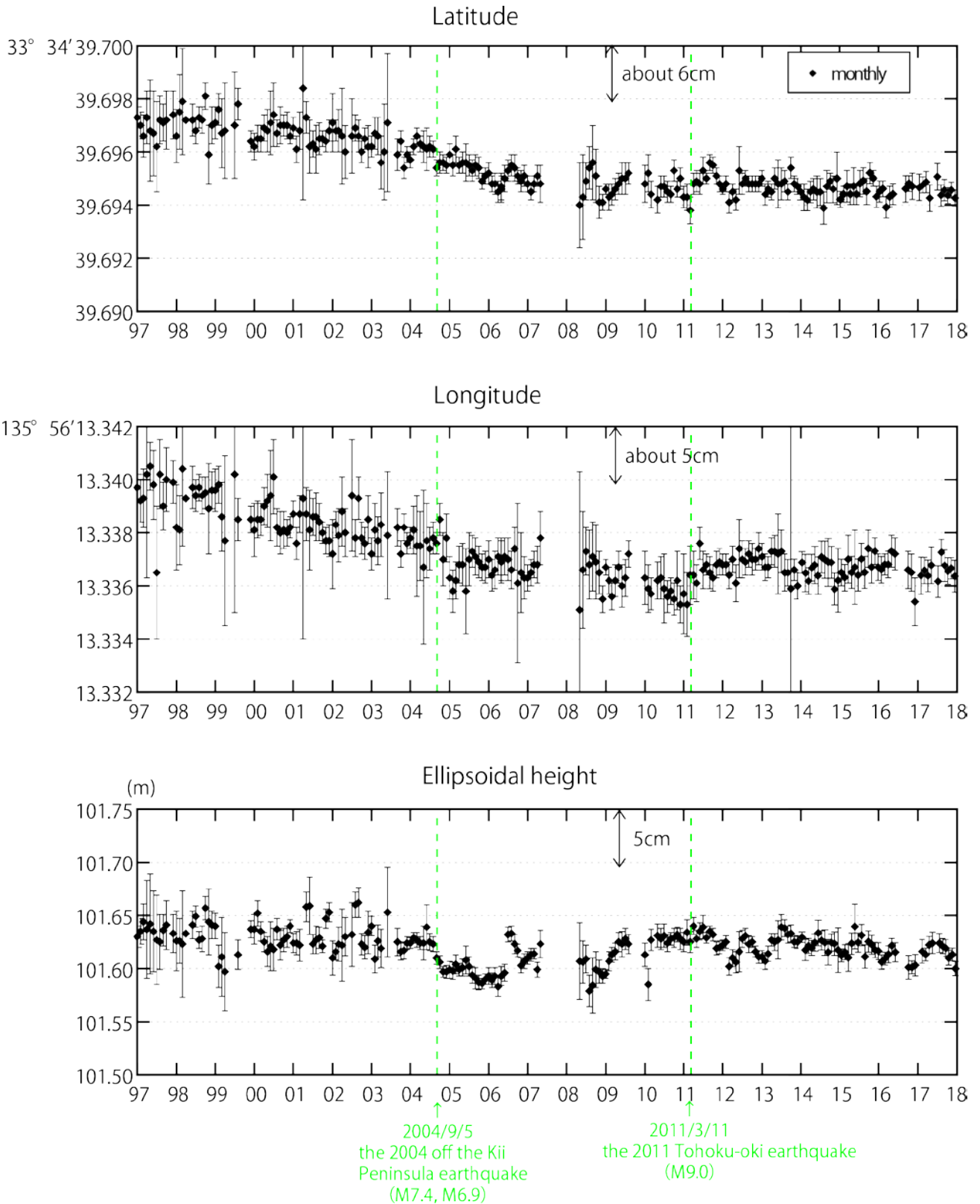
我が国の世界測地系に基づく海図の原点維持のため、1982 年から下里水路観測所（海洋測地本土基準点，第 1 図）において，測地衛星「あじさい」，「ラジオス I」及び「ラジオス II」等の人工衛星レーザー測距（SLR: Satellite Laser Ranging）観測を行っている。

取得したデータは，国際レーザー測距事業（ILRS）の枠組みの中で，国際データセンターに提供するとともに，世界中の SLR 局で取得されたデータと合わせて解析することにより，地球の重心に対する下里の位置を決定している。

第 2 図に，測地衛星「ラジオス I」及び「ラジオス II」を使用した下里レーザー不動点の世界測地系に対する位置変化を示す。解析には，GEODYNE-II/SOLVE を使用した。



第 1 図 下里水路観測所の位置図



第2図 ITRF2000 に準拠した下里レーザー不動点の位置座標時系列(1997~2017年). 緑の破線は、紀伊半島南東沖地震及び東北地方太平洋沖地震の発生時期を示す。